

国際研究集会派遣報告



平成 30 年度 国際研究集会 (海外第 1 期) 派遣会員報告書

派遣国際研究集会 : European Congress of Radiology 2018
 開催場所 : Vienna, Austria
 開催期間 : February 28–March 4, 2018

ECR 2018 参加報告

派遣員 青木陽介 大船中央病院

はじめに

2018年2月28日から3月4日までオーストリアのウィーンで開催された European Congress of Radiology 2018 (ECR 2018) に、日本放射線技術学会 (JSRT) の国際研究集会派遣会員として参加させて頂く機会を得た。

発表内容

理由のない検査は「過剰医療」の一つと指摘され、「Choosing Wisely」キャンペーンが注目されるなど、世界的な問題となっている。必要のない放射線検査の施行によりもたらされる被ばくなどの身体的問題、検査を受けるための時間的束縛などの精神的苦痛、検査を実施することで発生する経済的負担など、過剰医療は多くの負の側面を含んでいる。私が勤める大船中央病院では、この対策として「重複する検査を判定するロジックを、厚生労働省標準規格である JJ1017 により構築して電子カルテに組み込み、重複の可能性がある検査がオーダーされるときに警告を表示する」運用を実施している。今回、私はこの機能の導入初期評価と今後の展望について報告してきた。

日本での「Choosing Wisely」の認知度はまだ低いと思われる。日本版 DRLs が公表され、医療被ばくの適正化への取り組みが本格化する流れに加え、増え続けるといわれる医療費の効率的運用が喫緊の課題となっている日本において、「Choosing Wisely」は大変有力なツールとなることは間違いないと考える。このツールは、思考を補助する支援システム (clinical decision support system) としての機能を有する。

学会の様子

ECR は毎年 3 月初頭に開催される。例年なら暖かくなり始めるはずだが、今年は地元の人も驚くような十数年ぶりの寒波に見舞われ、雪が降る中での ECR となった。私は昨年も ECR に参加したが、今回は初めての国際学会だったこともあり、よくわからないまま終わってしまったことも多かった。今回は、だいぶリラックスして臨むことができた。

私が発表したセッションは、「Voice of EPOS」という電子ポスターを画面に表示しながら口演するスタイルであった。会場はあまり大きくなく、座長やフロアとの距離がとても近く、会場にいる一人一人と対話するような雰囲気だった。「Voice of EPOS」以外の口演セッションは大きな会場で行われることと比べれば、国際学会初心者にとってはおすすめと思う。

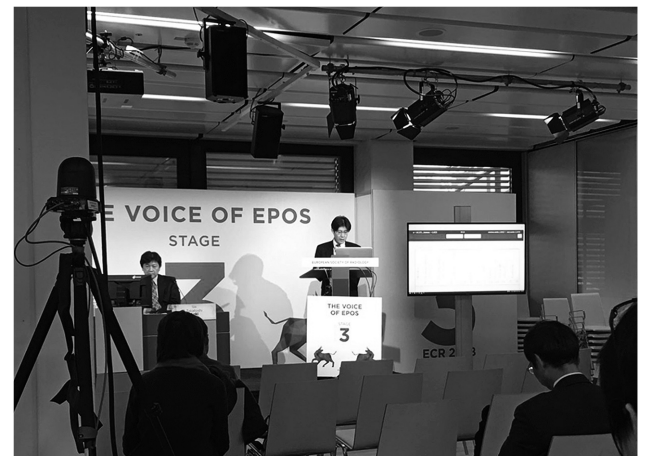


Photo 発表する筆者。
写真左側にあるのが web 配信のカメラ。

JSRTをはじめ日本の学会でも、スケジュール管理や抄録の閲覧が可能となるアプリなどが提供されることがあるが、ECRでも同様の仕組みがあった。日付や会場のみでなく、演題のカテゴリなどでも検索が可能であり、とても使いやすい印象を受けた。また、既に終了した発表をオンデマンドで、更に各会場の発表をリアルタイムに観ることもできた。私が発表した“Voice of EPOS”もリアルタイムに視聴できたようである。発表中、演台の正面に設置されたカメラを通じてインターネットに自分の姿が流れているという緊張感と、前述のようなフランクな雰囲気が混在する、独特な雰囲気の中での発表であった。

謝 辞

今回の ECR 2018 の参加にあたり、国際研究集会派遣会員として助成いただきました JSRT の小倉明夫代表理事をはじめ理事の皆様、国際戦略委員会の皆様、会員の皆様に厚く御礼申し上げます。また、本研究に惜しみないご指導をくださった順天堂大学放射線医学教室の隈丸加奈子先生に改めて御礼申し上げるとともに、国際学会の出席に快諾くださった大船中央病院放射線科の笹嶋範明技師長、病院長の須藤博先生、多大な協力をいただいた放射線科諸兄弟姉に感謝します。